

教科	地理歴史	科目	日本史B	担当	
履修学年	3年	単位数	4	履修区分	普通科文系(2・3年分割履修)
教科書	改訂版 詳説日本史(山川出版社)				
副教材等	『図説日本史通覧』(帝国書院) 『ステップアップ日本史』(啓隆社) 『2024共通テスト演習』(ランズ)				

1 学習目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
b	思考・表現・判断	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
c	主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法					
					a	b	c							
前期	4	第Ⅲ部 近世	第7章 幕藩体制の展開		○	○	○	a 近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、近世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 b 近世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 c 近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	小テスト 授業態度 レポート ノート提出 リフレクション					
	5									第8章 幕藩体制の動揺		○	○	○
	6													
前期	6	第Ⅳ部 近代・現代	第9章 近代国家の成立		○	○	○	a 近現代の地域・日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、近現代の地域・日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 b 近現代の地域・日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 c 近現代の地域・日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	小テスト 授業態度 レポート ノート提出 リフレクション					
	5											○	○	○
	9													
後期	9		第10章 二つの大戦とアジア		○	○	○	a 近現代の地域・日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、近現代の地域・日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 b 近現代の地域・日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 c 近現代の地域・日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	小テスト 授業態度 レポート ノート提出 リフレクション					
	5											○	○	○
	11													
後期	11		第11章 占領下の日本		○	○	○	a 「現代日本がかかえている課題とは何だろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。 b 「現代日本がかかえている課題はどのように生み出され、人々はそのような課題とどのように向き合ってきたのだろうか」などの課題について、国民の生活や地域社会の変化などに着目して考察し、その結果を表現している。 c これまでの学習の経緯について、自身との関わりをふまえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	小テスト 授業態度 レポート ノート提出 リフレクション					
	5									第12章 高度成長の時代		○	○	○
	2													

4 考査の観点別配点

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	40	40	40	40
b	50	50	50	50
c	10	10	10	10
計	100	100	100	100

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- 主体的に授業に参加し、質問や話し合いを通じて自らの考えをまとめたり、根拠を示して表現し伝えるためグループワークを重視する。
- 読む力を養うとともに歴史的思考力を養うため、史料の読み取りやペアワークを実施する。
- 授業はスライドを使って進めるため、ノートに自分でポイントをまとめる作業を課す。
- アウトプットすることを評価するため、レポートを課す。